

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	富士北麓公園	所管課	都市計画課
所在地	富士吉田市上吉田立石5000	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年
管理方式	指定管理者((財)山梨県体育協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②スポーツの場を提供すること ③主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	第2種公認陸上競技場、球技場、野球場、体育館、緑地、園路広場、駐車場		
主な業務内容	① 施設・備品の管理運営業務 ② スポーツ振興業務 ③ 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ④ 県が実施する大会等への協力		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	287,645	308,701	295,680	
	有料施設利用者数 (観客数を含む)	132,308 (168,498)	154,102 (187,022)	140,466 (176,051)	
	利用者数合計	287,645	308,701	295,680	
	目標値	226,000	280,000	309,000	309,000
	目標値設定の考え方	昨年度実績の達成を目標とした	昨年度実績の達成を目標とした	昨年度実績の達成を目標とした	昨年度と同様の達成を目標とした
	対20年度比	100.0%	107.3%	102.8%	107.4%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	13,013,000	10,066,000	12,794,000	10,687,000
	指定管理者委託料	77,203,000	76,781,000	76,781,000	76,887,000
	その他	1,331,000	2,009,000	1,488,000	1,495,000
	収入合計(A)	91,547,000	88,856,000	91,063,000	89,069,000
支出	人件費	41,398,000	33,539,000	45,779,000	34,324,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	50,665,000	55,317,000	49,947,000	54,745,000
	(うち外部委託費)(B)	32,414,000	36,863,000	32,686,000	36,481,000
	支出合計(C)	92,063,000	88,856,000	95,726,000	89,069,000
収支差額(A-C)		-516,000	0	-4,663,000	0
外部委託比率(B÷C)		35.2%	41.5%	34.1%	41.0%
利用者一人当りの経費		250	248	260	249

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(H〇~〇年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(H〇~):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月~23年3月、実施方法:公園利用者・来園者アンケート、 回答数:877人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①良好な緑地環境の提供	84.6%	8.3%	6.9%	0.2%
②遊び、憩いの場の提供	89.8%	4.6%	5.6%	0.0%
③スポーツの場の提供	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④イベント・教室	99.2%	0.4%	0.0%	0.4%
⑤広報、接客等	93.6%	2.6%	3.2%	0.6%
⑥自主事業	72.0%	12.5%	11.3%	4.2%
各項目の平均	89.9%	4.7%	4.5%	0.9%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	・レストランや売店がないため、パンやカップ麺等の軽食の自販機を設置してほしい。
利用者の意見への対応	・大規模イベントや大会時には、臨時売店を出店した。また、事務所においてカップ麺の販売をに対応した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	環境の整ったスポーツ施設として、施設の保守・点検や植栽管理を計画どおり実施し、利用者に安全で快適な環境が提供できたと考える。また、防災面に関しては不測の事態に備え職員研修・訓練を実施するとともに、東日本大震災を教訓に職場全体で防災意識の向上により一層努めた。	全体的に適切な維持管理が行われている。施設の老朽化に伴い、早期の不具合箇所を発見し、修繕に努めていた。
運営業務	施設の保守・点検管理や植栽管理等、運営管理全般を計画書のとおり実施したことにより、利用者に安全で快適な環境が提供できたと考える。また、震災による計画停電の実施時は、施設利用者への連絡や調整を行い、利用に支障を来すことなく対応した。	公園の特色を生かした自主事業を行い、利用促進に貢献した。また、業務計画書にもとづき施設管理が適切に行われていた。
自主事業	事業計画書に基づき、概ね実施した。	利用者の要望に添った教室を開催したため、利用者の増加につながった。
利用状況	業務計画書に基づく各種(利用時間の拡大、無休営業等)の取り組みが定着し、一般利用の件数は増加した。また、ETC割引により、近県からの来園者は増加したと推移されるが、前年度開催された関東大会(2競技)がなかったこと等により総利用者数は減少した。	自主事業による利用者は増加しているが、有料施設利用者が減少しているため、広報等を積極的に行い、利用者の増加に努めること。
収支状況	有料公園施設利用者は、2月まで順調に推移していたが3月の震災の影響により前年比を下まわった。施設設備経年劣化により修繕及び備品購入の経費が増加した。	今後も施設の老朽化に伴い修繕費が増加することが予想されるため計画的な修繕を行うこと。
利用者満足度	利用者の意見・要望声については、できる限り迅速な対応を行なった。概ね高い評価をいただいている。	良好な満足度を得ていると判断できる。要望のうち、可能なものについては実現に向けて努力していくよう指導を行った。

運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標</p> <p>入園者数 目標値 309,000人 → 実績値 295,680人</p> <p>有料施設利用者数 目標値 187,000人 → 実績値 176,051人</p> <p>入園者数、有料施設利用者数ともに目標をおおむね達成している。</p>
-----------	--

施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われていた。</p> <p>また、公園利用者は減少したが公園の主な目的でもあるスポーツ振興業務、スポーツ講習会開催業務も計画的に行われており、管理運営は効果的・効率的であった。</p> <p>今後は、公園利用者が減少した理由を分析し、公園を利用したイベントの企画・誘致を行い、管理・運営の質の向上に努めること。</p>
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>利用人数が前年比86%(約14,000人減)であった。主な要因として、前年度開催された大規模のバスケットボール大会(関東中学・富士吉田ミニバス招待・ラベンダーカップ)が行われなかったことで約8,000人、改修工事関係(球技場芝張替え・体育館ライン書換)で約2500人、東日本大震災の影響で約3,600人。これらのことが大きい関係した。</p> <p>また、興行の企画・誘致については、環境アスリート協会と連携した元トップアスリートとの交流イベントや、高齢者を対象とした大会の誘致を検討中である。</p>

7. 管理体制(組織図)

